



評価結果

- ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、地域の水源地としての役割や、地域の基幹産業である農業等に資する観点から、水源涵養の役割を果たすことが期待されている。また、急峻な地形であることから、山地保全の役割が求められている地域であり、地球温暖化防止対策や広葉樹を含む木材の安定供給と有効活用のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。
- ・効率性： 路網整備においては、本地域特有の急傾斜地形及び脆弱な地質に留意した工種及び作業仕様による開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスを向上させ、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えていくこととしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。
- ・有効性： 本事業により、森林が健全な状態に維持され、水源涵養、山地保全、二酸化炭素の固定等の公益的機能の発揮が期待される。また、効率的な森林整備により、地域の基幹産業である農業の振興にも資することや、これまでの評価結果を踏まえた事業内容となっており、事業の有効性が認められる。

新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：北海道

施行箇所：日高森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	9,404,402	
	流域貯水便益	2,896,961	
	水質浄化便益	10,342,804	
山地保全便益	土砂流出防止便益	10,518,111	
環境保全便益	炭素固定便益	2,911,395	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	252,109	
	木材利用増進便益	177,560	
	木材生産確保・増進便益	809,445	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	65,968	
	森林整備促進便益	305,594	
総 便 益 (B)		37,684,349	
総 費 用 (C)		6,659,517	
費用便益比	$B \div C = \frac{37,684,349}{6,659,517} = 5.66$		

# 森林環境保全整備事業 日高森林計画区 事業概要図



## 森林整備

更新	面積	697 ha
保育	面積	16,800 ha

## 路網整備

開設	延長	29.5 km
改良	延長	0.04 km